



各 位

会 社 名 : 株式会社夢テクノロジー
 (コード : 2458 JASDAQ)
 代表者名 : 代表取締役社長 本山 佐一郎
 問い合わせ先 : 取締役副社長 金子 壮太郎
 (TEL : 03-6420-3828)

中期経営計画(2019年9月期～2021年9月期)策定に関するお知らせ

当社は、2017年11月6日に中期経営計画(2018年9月期から2020年9月期)を発表いたしました。最近の外部環境及び業績動向を踏まえて、新たに2019年9月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 今期の業績予想及び今後の業績目標

(百万円)

	2018年9月期 (業績予想)	2019年9月期 (計画)	2020年9月期 (計画)	2021年9月期 (計画)
売 上 高	10,000	13,000	19,500	25,000
営 業 利 益	380	0	1,000	1,800
純 利 益	180	0	700	1,200
期 中 採 用 人 数	1,200人	1,800人	2,000人	2,200人
期 末 エ ン ジ ニ ア 数	2,400人	3,400人	4,400人	5,500人

2. 新たな中期経営計画策定の背景

現在、日本経済において、労働人口の減少による「人手不足」は大きな課題となっております。特に当社の顧客であります製造業及びIT業界のエンジニア不足は深刻であり、特にIT人材においては、2030年に79万人の不足が予想されるなど、より事態は深刻化する見込みとなっております(経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」より)。また、各企業におけるIT投資の活性化は顕著であり、ITエンジニアの派遣需要は今後も高い水準で維持されると推測しております。そのため、エンジニアに対する引き合いの増加に伴い、国内外の同業他社との人材獲得競争がさらに激化することも見込まれております。

当社は、今後のエンジニア需要の拡大を見込み、今期2018年9月期においては、採用計画1,200人とし、女性や外国人といった独自の採用ターゲットを開拓し、概ね達成予定となっております。一方で、大量採用に伴った稼働数を増加させるための営業力強化及び研修体制の強化が、当初の計画どおり進捗していませんでした。今期の実績をみると、現在の体制では将来の需要に対して十分に対応できず継続して成長することが困難であると当社は判断いたしました。

そのため2019年9月期では、大量採用に加え、営業人員数の増加や営業拠点の新設、研修体制の整備といった投資を加速度的に実施する必要があると判断いたしました。また、人材獲得競争がさらに激化することによる採用コストの増加も見込まれます。将来のさらなる派遣需要の増加に対応できるよう、一層の体制強化を図るための投資の時期と捉え、約8億円の販管費増加を見込んでおります。その結果、2019年9月期の営業利益はほぼ見込んでおりません。

2020年9月期以降につきましては、大量採用にあわせた営業及び研修体制を2019年9月期において整備することにより、エンジニアの稼働率を重視した経営体制に移行いたします。大量採用路線を継続し2,000名の採用を行いつつも、稼働率を改善させること及び販管費比率を下げることで10億円の営業利益を見込んでおります。

以上のことから、2019年9月期を「種まき期間」と捉え、2020年9月期は「ステップアップ期間」、そして、2021年9月期には稼働エンジニア数5,000人以上を目指す中期経営計画を策定いたしました。

3. 中計経営計画の重点施策

①人材採用の強化

会社規模拡大のための先行投資として積極採用を継続し、2021年9月期に稼働エンジニア数5,000名達成を目指します。

②営業力の強化

営業人員の増加や営業拠点の新設といった投資を行い、迅速なマッチング・派遣先企業を拡大し、稼働率の向上を目指します。

③研修・フォロー体制の強化

研修内容の充実、研修メニューの拡充など、より質の高いエンジニアを供給すると共に、退職によるロスを削減する体制整備も実施いたします。

以 上